

令和2年度 第1回監査委員会 議事録

開催日時：令和2年12月17日（木）9時30分～11時

会 場：大学病院本館4階第1会議室

出席者：（監査委員）上原委員長、小林委員、相馬委員、益子委員、中尾委員
（病院側）大坪病院長、峯下副院長、根津執行役員、坂上参与、清水参与、内川主幹、
梶ヶ谷師長、穠山主査、水戸主査、阿部係長、北原課長、仲田課長補佐
（進行）（事務部管理課）桑原主事

（議事）

(1) 特定案件に対するヒアリングについて

医療安全統括会議議事要旨に記載された具体的事案のうち、監査委員が選択した事案について、関係者からのヒアリングを行った。

今回は令和元年度第10回から第12回の医療安全総括会議及び令和2年度第1回から第6回の医療安全総括会議から対象事案を選択した。

（病院側より）

選択された事案についての詳細な状況、問題点の抽出、整理、今後に向けての対策等の説明がなされた。

（監査委員より）

- ・ 監査委員が指摘したことに対策がなされている。手順を遵守し、安全確保するとともに、医療者間の情報共有を徹底してもらいたい。
- ・ 患者が質問しやすい環境や工夫をすることで、医療安全がより確実になることを留意してもらいたい。
- ・ 薬剤投与について、電子カルテの機能を活かした仕組みがある一方、人による慣行に対して医療事故の意識付けを欠かさない仕組みを継続していただきたい。
- ・ 画像のレポートは先進的な取り組みとして評価できる。
- ・ 日本医療安全調査機構への報告事例となるかどうかの検討は重要であるが、仮に報告しないことになったとしても、院内全体での事例検討を行い、記録を残していった方が良いと思われる。
- ・ 病院管理者、医療安全管理者が医療事故調査制度を理解し、準拠した活動がなされている。医療安全の体制が機能している。

(2) 病院側よりヒアリング後の感想

全死亡例の検証や、画像診断のレポート作成等、医療安全への取組に、評価された内容があったことを真摯に受け止め、一層充実させたい。

(3) その他

- ・ 次回の予定について
前回の委員会で決定したとおり、令和3年2月に開催する。日程は別途調整の上、通知する。